

地域の危険度マップで 建物被害発生危険度分布を把握

「地域の危険度マップ」は、大字ごとに分布する建物の建築年代や構造を集計し、その割合と50mメッシュ単位の揺れやすさをもとに全壊[※]する建物の割合を表示したものです。危険度の数値が大きくなるほど、地域の建物が受ける被害は大きくなります。

※全壊…住宅が居住のための基本的機能を喪失したもの

- ・住宅の全体、もしくは一部の階が全て倒壊している場合
- ・外壁や柱の傾斜が1/20以上である。

